

平成 28 年度 保護者会事業及び保育園行事報告書

実施月日	事業及び行事	内 容
4月1日(金)	※ 入園式	
4月16日(土)	※保護者会総会・第1回役員会	新役員挨拶 助産婦山本文子さん講演
5月2日(月)	子どもの日	こいのぼり持ち帰り
5月14日(土)	※ 親学の集い	プレイバックシアター
6月15日(水)	歯科検診・内科検診	松茂内科・高瀬歯科
6月1日(水)～6月30日(木)	※ 個人懇談	
7月7日(木)	七夕	
7月23日(土)	※ 夕涼み会	ハレルヤスイーツキッチン
8月6日(土)～7日(日)	お泊り保育	きらら組・昨年卒園児
8月12日(金)～15日(月)	お盆希望保育	
9月上旬	敬老の日	葉書投函(子どもの写真のみ)
10月1日(土)	※親子ふれあいフェスティバル	松茂町第2体育館
10月15日(土)	親子遠足	とらまる公園
11月15日(火)	阿波踊り空港見学	きらら組
11月16日(水)	歯科検診・内科検診	
11月21日(月)	異年齢保育説明会	つき組・そら・スター組
11月22日(火)	就学に向けての勉強会	スター・きらら組
11月25日(金)	消防自動車来園	避難訓練
12月2日(金)	おもちつき	
12月5日(月)	芋ほり	
12月22日(木)	クリスマス	
12月29日(木)～1月3日(火)	年末年始(休園)	
1月11日(水)	どんど焼き	どんど焼きの火でみかんを焼きます
1月21日(土)	わらべの集い	ほし組
2月3日(金)	節分	
2月6日(月)～28日(火)	※ ※個人懇談	
2月17日(金)	修了写真撮影	
3月3日(金)	ひなまつり	
3月14日(火)	公開リトミック	スター・きらら組
3月15日(水)	遊 山	お弁当を持って遊山に行く(つき・ほし組)
3月13日(月)～15日(水)	クラス懇談	新年度のクラスごとで集まり、懇談をする
3月24日(金)	里帰りディ	前年度の卒園児が帰ってくる日
3月31日(金)	卒園式	卒園式はほし組のみ

<毎月>

身体測定、避難訓練、おはなしの日(ほし組)リトミック(きらら・スター)けん玉ファミリー・スマイルディ(おもちゃの貸し出し)があります。(毎月10日前後)

お誕生会は誕生日に1人ひとりをクラスでお祝いします。

※ ほし組より(4月～3月末)に誕生日保育参加(9時～昼食後)と 一日保育参加日(9時～16時)を行っております。

保育参加後は必ずお子様と降園お願いいたします必ずどちらか一日はご参加ください。

ほし組は11月～3月の間、月一回お弁当持参日をもうけ、散歩に出かけます

※ 乳児クラスは(9月～1月)ランチコミュニケーション(13:00～14:30)で園の様子をお伝えしたり、昼食の試食を行っております。

きらら保育園重点事項考察

きらら保育園が開園されて14年が過ぎました。定員30名の乳児保育園から、定員60名就学前までの受け入れとなり、新入園児の中に「就学前まで預かってもらいたい」という希望が増え、就学前までの一貫した保育が少しずつですが、地域に根づいてきたように思います。

① 異年齢での育ち

幼児では異年齢保育が始まって7年目。異年齢保育の仕上げの年となる5歳児は、年長児としての自覚が芽生え、自分が3,4歳児の時に年長児に優しくしてもらった経験から、自然と下の子の面倒をみたり、リーダーシップをとる姿がみられました。4歳児はそんな5歳児の姿を見つつも、来年、自分が年長児となる準備期間としての心構えができてきているように感じます。また、年少児である3歳児も4,5歳に憧れ、特にけん玉に挑戦しようとする姿が目にとまりました。

② 保護者支援

卒園式で第2部として保護者の方々の卒園式を行いました。保護者であり親であるという視点から、きららでの在園期間中の出来事をプレイバックシアターという手法を用いて再現することができました。保護者の方から、この大切な子育ての時期を共に過ごした思い出が語られ、温かな時間を共有することができました。

又、個人懇談では、全員、主任と担任を交えての懇談を行い、発達の気になるお子さんに対してのサポートを外部講師の天満病院言語聴覚士である赤壁先生に繋げることができ、保護者支援に繋がったのではないかと考えています。

③ 食育

保育参加の機会がない乳児の保護者に対し、昼食の試食ときららの食事のこだわりを月に一回、7か月間かけて保護者に伝えました。和食に対するこだわり、食器に対するこだわり、食べること＝生きる事として大切なお子さんを預けてくださる保護者の方に理解してもらおう事。このこと伝え続けていくことが大切だと考えています。

③ わらべうた

乳児は、特に0歳児をはじめとし、遠野のわたべうたを積極的に取り入れ、人と人との信頼関係づくり、気持ち育てにちからを注ぎました。人として真剣に向き合い、子どもの気持ちを起こすこと。この乳児期に人との愛着関係を築くことが子どもの人格形成にはとても大切です。また、その基盤を築いた上で幼児期の異年齢への関わりと繋がっていきます。人と人との関わり大切さをこれからも保育の中で伝え続けていきます。

④ 園庭遊び

今年度は保護者の方の寄付のご協力を得て移動式の鉄棒を購入しました。生活が便利になり、体を使う機会が減少している子どもたち。乳幼児ともにできるだけ体全身を使った外遊び、発達に応じた外遊びの確保をこれからもしていきたいと考えています。

⑥ 資質向上

職員の間力向上においては、昼礼での「きらら手帳」の活用、毎日のPDCAサイクルでの見直しが定着し、職員間で意見を出し合いながら、継続することができていること、また、月一回の職員会議でも、一人ひとりにアウトプットする力がつき、話し合いの内容も深まってきました。0歳から6歳までの幅広い子どもの育ちを園全体でバックアップできていると感じる機会が増え、これからも、職員の人財育成に力を注いでいきたいと思っています。